



志津南

1月号

news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (11/30 現在)
世帯数 2,488 総人口 6,644 人
発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

令和3年 志津南3大ニュース

あけましておめでとうございます。昨年の志津南を振り返ってみました。今年は、もっと良い年になりますように。

1 コロナ

残念ながら、二年続けてトップニュースは「コロナ」。8月27日から9月30日まで、志津南まちづくりセンターも二度目の閉館を余儀なくされました。

そんな中、マスク・消毒等は定着し、連絡手段にデジタルツールが多用されたり、小学校でリモート授業を取り入れたり…生活の工夫も進んで来たように思います。

センター玄関常備の消毒液・検温計



2 アンケート

ふれあい推進委員会（川手麻子委員長）が8月、ふれあいまつりについて全住民対象のアンケート調査を行いました。

台風とコロナで4年連続中止となった「夏まつり」ですが、アンケート結果は意見が割れ、理事会とも相談の結果、来年のまつり実施について時期や内容など、同委員会に準備・調整が委ねられることになりました。



集計結果報告書

3 環境整備

コロナ禍のせいで、住民による一斉清掃が何度も見送られる中、志津南環境美化ボランティアの会を中心に、地域の環境整備が行われ、志津南のまちはとても美しく保たれました。

様々な場面で、同会に負うところが非常に多くなっており、地域として環境整備にどう向き合うか、今後の課題となっています。

今年度初の冬の一斉清掃



志津南まちづくりセンターは12月4日、草津市市民課へ依頼し「マイナンバー申請受付ひろば」を開催しました。

会場を訪れ申請手続きをする参加者



これは、個人番号（マイナンバー）カードの普及促進を目的に、市内の公共施設などで、申請者が準備物や事前予約なしで、マイナンバーカードの申請ができるように、市民課の職員が出向き申請を受け付けるものです。

マイナンバーカードは、交付時来庁方式としており、申請自体はスマホやパソコンなどでも可能ですが、職員が立ち会う安心感があります。

当日は、子ども連れの家族やご夫妻、他の学区の方
草津市では、新型コロナウイルススワクチン追加接種（3回目接種）が次の要領で実施されます。
2回目の新型コロナウイルススワクチン接種後8か月以上経過すると、市から3回目の接種券が送付されて来ます。まずは主に医療従事者の方が対象となるため、65歳以上の高齢者への発送開始は1月中旬、接種実施は1月下旬になる予定です。

コロナワクチン

3回目接種

も含め、23組の申請者がありました。
遠くまで足を運ばず、手ぶらで来て簡単に手続きができたので、喜んでいただきました。

▽接種会場 フェリエ南草津 2階に入場口
▽個別接種 現在調整中
▽問い合わせ 健康福祉部

輝くペットボトルツリー



幻想的に…しづみにナリエ

地域サロン「志津南アンサンブルパワー」（吉田知津子代表）が志津南環境美化ボランティアの会と若草おやこっこクラブの協力を得て、12月18日から24日、志津南まちづくりセンター玄関前で「しづみにナリエ」を開催しました。

「ひと」「まち」「ゆめ」と刻まれたセンター前のシンボルタワーを中心にツリーを組み上げました。四隅を通路近くまで長く伸ばし、夜は幻想的にライトアップ。18日午後5時15分、合図とともに点灯されると一斉に拍手が起りました。

センター職員異動

志津南まちづくりセンターでは令和3年12月28日をもって臨時職員の平田武三さん、平田都美子さんが退職、1月4日から同じく臨時職員として北村昌彦さん、廣嶋耕一さんがお世話になります。よろしくお祈りします。

新型コロナウイルス対策室

電話 (561) 0184
FAX (561) 2482

熱心に真剣に合同防災訓練



若草・岡本西地区協働活動委員会自主防災連合会が11月28日、若草中央児童公園で若草三・四・五丁目町内会合同の防災訓練を開催、53人が参加しました。

長らくのコロナ禍でしたが、最近では滋賀県の感染者ゼロという日も珍しくないほど下火となったのを機に開催。当日は雲一つない秋晴れに恵まれました。めったに身に着けることのないヘルメットのきこちなさが、何となくの緊張感を感じさせてくれる中、南消防署と草津市消防団第二分団の方々の指導の下、訓練が開始されました。

冗談を交えた軽快な指導員の口調に次第に気持ちも和らぎ、熱心に訓練に取り組みました。消火器の正しい扱い方、消火栓へのホースの接続、放水準備など、基本的な訓練内容でした。しくじりに思わず洩れる

宝探しみたい サツマイモ収穫

志津南小学校(山田容子校長)二年生が11月17日、地域ふれあい農園でさつまいもの収穫を行いました。

今年も、志津南環境美化ボランティアの会や民生委員に協力いただきました。

ボランティアさんからもがどんな風に育ってきたかを教わり、いもの見つけ方や掘り方を自作のモデル

を使って分かりやすく説明していただきました。

春に自分たちが植えた場所へ移動し、手で土を掘り次々とさつまいもを掘り当てました。大きさは形も一つ一つ違い、まるで宝探しをしているように楽しく活動することができました。

今年も、地域のみなさんのおかげで、たくさんのおさつまいもを収穫することができました。

25日には、お世話になったみなさんを招待し「ありがとうの会」を開き感謝を伝えました。



さつまいもの収穫(上) ありがとうの会(下)

苦笑い、「うまくやれるだろうか?」と一抹の不安を覚えながらの訓練でした。途中、少女が飛び入り参加。周囲に笑みがこぼれ、少女を応援するかのような雰囲気にも包まれました。

いろいろな質問も出て、中には指導員の方がたじろぐような場面まで。

全員が一つの事に真剣に取り組み、コロナで薄れがちであった町内活動で大切なものを取り戻す事ができた貴重な2時間でした。

(三丁目町内会長 祖父江三郎)

今年度初の一斉清掃に汗流す

掃いても掃いても散つて来る落ち葉の季節です。コロナで一斉清掃もままならなかった一年ですが、ようやく初めての町内一斉清掃が行われました。

人が参加し、班単位で、南・北の両公園に加え、緑地帯・遊歩道を担当し、草刈りやゴミ拾いを行いました。

両公園には大きな草の山ができて、どの場所も見違えるほどきれいになりました。

前週の10月30日には、有志15人の「草刈隊」の皆さんが草刈機で緑地帯の草刈りを実施しました。

皆様のおかげで、無事に終えることができました。ご協力ありがとうございました。



清掃前(左)と清掃後(右)

かがやきの丘町内会(浅野義和会長)は11月7日、今年度1回目となる町内一斉清掃を実施しました。

281世帯、大人297

若草・岡本西地区の冬の町内一斉清掃が12月12日に行われました。写真。

(環境衛生部 高木 寛)



志津南文庫

新しい年が明けました。今回の文庫は、「モノづくり」「DIY」関係の本を並べています。その他、児童文学作家の那須正幹さんの「スツコケ三人組」シリーズです。小学校六年生の男子三人が活躍する痛快な作品で、楽しいですよ。

また、テレビドラマや映画化された本、児童書や絵本もいっぱいあります。

コロナ禍も急速に収まり、県内の感染者も減少方向のため、従来の全町一斉清掃活動を実施しました。

667軒(参加率78%)と多くの方に参加いただき、ありがとうございました。

「今年初めての二斉清掃やね」などの会話と沢山のマスク顔が集まり、久々に活気のある清掃活動でした。

子どもお楽しみ会

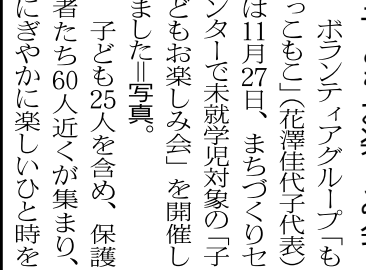
ボランティアグループ「もっこもっこ(花澤佳代子代表)」は11月27日、まちづくりセンターで未就学児対象の「子どもお楽しみ会」を開催しました。写真。

子ども25人を含め、保護者たち60人近くが集まり、にぎやかに楽しいひと時を過ごしました。

最初はペープサート「キヤベツ君とぶたやまさん」。愉快な話に、どの子も真剣。続いて、大型絵本の「はらぺこあおむし」。スタッフの歌に、子どもたちも一緒に歌い始め、とてもいい雰囲気になりました。

最後は、身体を動かして「いっぱい遊ぼう」。大きい子は保護者と、電車ごっこやトンネルくぐり。小さい子は、段ボール箱にカラーボールを入れて遊みました。最後にプレゼントを手に入れた笑顔で帰っていきました。

次回は三月に、幼児から小学生対象のイベントを予定しています。



びわ湖放送 サークル取材に



風景とウェブア
ミンチュ URL



いきいきクラブ (上)
セラバンド (下)



びわ湖放送が11月18、19の両日、滋賀で頑張るグループを応援する番組「フレ！フレ！アミンチュ」の取材で、志津南まちづくりセンターを訪れました。

18日は「志津南いきいきクラブ」(奥田隆三代代表)。94歳を筆頭に、平均年齢88

歳の人たちにお馴染みです。テレビでも歌いながら踊るグループがたくさんいますが(BTSなんかかっこいい)、そんな音楽を聴くと体が自



大人に
とって懐
かしの習
い事と言
えば、そ
ろばん・

習字・ピアノ・公文・スイミングなどでしょうか。

今あげた習い事は、現役のイマドキ子どもたちの間でも人気の習い事です。では、昔はあまりなかった、でも子どもたちにとって身近な習い事とは？

まず思いつくのは「ダンス」。志津南小学校のクラブにもあるくらい、子どもた

ポーズで撮影が締めくくられました。
12月9日放映。ウェブでは随時視聴できます。
▽志津南いきいきクラブ
news/8320/
https://www.webaminchu.jp/
https://www.webaminchu.jp/news/8322/



椅子にかけたまま体操する学級生

習い事



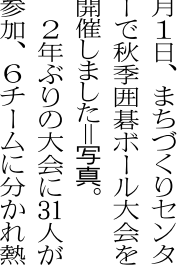
ちにはお馴染みです。テレビでも歌いながら踊るグループがたくさんいますが(BTSなんかかっこいい)、そんな音楽を聴くと体が自

然と動き出す子たちがいて、イマドキの子たちはかっこいいなど思ってしまう。ダンスに比べると少ないかもしれませんが、これぞ

やすらぎ学級第6回講座が11月24日、志津南まちづくりセンターで開催され、学級生10人が参加しました。「いきいき百歳体操」と題し、草津市役所長寿いきがい課よりの講師を招きました。プロジェクトで映像を見ながら、講話と実際に身体を動かす実践とで、健康について学びました。

イマドキなのが「プログラミング」。志津南まちづくりセンターでも行われていましたが、小学校にも導入され、子どもたちにとっては身近なものようです。先日小学生プログラミングコンテストの様子が放送されていますが、社会課題を解決するアプリを作り、大人顔負けのプレゼンでした。柔軟でぐんぐん吸収していく子どもたちにとって、習い事は可能性に出会えるチャンスの一つなのかもしれませんね。(なっちん)

地域サロン「若草一味クラブ」(早川将会長)は12月1日、まちづくりセンターで秋季囲碁ボール大会を開催しました。2年ぶりの大会に31人が参加、6チームに分かれ熱戦を繰り広げました。コロナも落ち着いてきたとはいえ油断することなく、

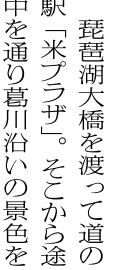


囲碁ボール 盛り上がる



若寿会 バスの旅楽しむ

若寿会(鈴木明代表)は12月2日、恒例のバス旅行開催となりました。2年ぶりの大会に31人が参加、6チームに分かれ熱戦を繰り広げました。コロナも落ち着いてきたとはいえ油断することなく、



深まる秋を歩く

志津南区健康推進員連絡協議会(横山民子代表)は11月27日、「秋のはつらつウォーキング」をびわこ文化公園へ実施しました。今年一番の冷え込む朝でしたが、参加者28人は、ラジオ体操・ス

バスは琵琶湖一周していましたが、コロナの影響などもあり一周は断念、半周旅行となりました。参加者はバスの定員ギリギリの23人。琵琶湖大橋を渡って道の駅「米プラザ」。そこから途中を通り葛川沿いの景色を

おもりなしで行いました。「運動をして、若返った気がします」「一人ではできないので、今日は良かった」などの声が聞かれました。公園では、樹々の特にいろはもみじの紅葉に、うつりゆく秋の深まりを想い、脳トレの指遊びを楽しんだ後、気まぐれなお天気雨に追いかけられながら、センターへと帰着しました。1万6千歩あまりのウォーキングでした。次回も皆さんの参加をお待ちしています。

1ルが3個以上並んで「連」ができる歓声が上がりますが、コロナ禍なので我慢。拍手に変えてプレーしました。久しぶりの大会は各チーム接戦が続き大いに盛り上がり、コロナ禍のストレスも少し発散できて、すっきりとした笑顔が見られました。予定より早く出発し、道の駅「藤樹の里」には1時間早く到着。代々続くこんにゃく屋さんが作ったという珍しい「とうふこんにゃく」がありました。最後は和邇の道の駅「妹子の里」。正月用にとミニ葉ポタンを買った人も。再び琵琶湖大橋を渡り、予定より1時間早く志津南まちづくりセンターに帰着。皆さんお疲れ様でした。

見た目もかわいく完成



工夫凝らした作品の完成

も人気のアイテムです。見た目もかわいく、写真にも映えるため、「優しく香る・見て楽しむインテリア」として話題になっています。

今回は、タケ型と楕円型のシリコンモールド(型枠)を使って、ドライフラワーやホログラムパールやビーズなどで可愛く装飾し、2つの作品を完成させました。

ものづくり講座「お家ラ イフをオシャレに楽しむ」が12月7日、志津南まちづくりセンターで開催され、受講生10人が参加しました。「アロマワックスバー」を作りました。

アロマワックスバーのワックスは「ロウ」のことで、火を使わずに優しい香りを楽しめるため、安全面から



チャリティバザー大盛況

ふれあいハウス「絆」は11月21日、第8回チャリティバザーを若草六丁目児童遊園で開催しました。小春日和の穏やかな日で、開店と同時に大勢の方々にお越しいただき大盛況でした。コロナ感染症の状況が落ち着いている時期に開催が

でき、また久しぶりに地域の皆様の交流の場となり、楽しいひと時を過ごすことができました。何より、このチャリティに賛同いただき、たくさん品々を提供していただいた方々、そして買っていただいた方々にお礼申しあげます。皆さま方の温かいお気持ちは、草津市社会福祉協議会を通し、日本赤十字社への3万円の寄付とさせていただきます。

雨の中、説明に耳を傾ける参加者たち



たり、リボンを二重にし、それぞれ工夫を凝らした作品ができあがりました。おうち時間を楽しみながら、生活に華やかさをプラスしてくれるアロマワックスバー。皆さんも作ってみてはいかがでしょうか？

古の旅人感じながら 秋堪能

3回目の今回は、美濃国関ヶ原宿をスタート、美濃国分寺跡から谷汲山華厳寺まで、バスで巡りました。

昨年開館した「関ヶ原古戦場記念館」に寄った後、美濃国分寺跡は、バスの車窓から。史跡公園として整備されており、広大な国分寺の規模を感じることができました。

最後は、西国第三十三番札所知られる「谷汲山華厳寺」。門前町で食事後、急な雨にもあいましたが、全員で長い階段をのぼり本堂まで行くことができました。途中、紅葉も美しく秋の景色も存分に味わうことができました。

今年度の「教養文化講座 史跡探訪(全3回)」は、ボランティアガイド野津隆さんの説明を聞き、昔の旅人を感じながら、無事に終えることができました。

パソコンの駅
パソコンについての相談
▽1月25日(火)
2月25日(金)
13時~16時
▽センターサロン
地域内困りごと相談窓口を兼ねています。



新しい年は寅年。日本人の多くは、自分の干支を即座に答えることができます。「寅」は動物の「トラ」を表す言葉ですが、この文字を使うときは、干支の一つとしての意味を持ちます。十二支の3番目。つまり年では2022年など、月では陰暦1月、時間では3時から5時、方角ではおおよそ東北東を指します。

「むかし、長尾山のふもと、泉のほとりに虎御前という美女が住んでいました。道に迷って助けられたのが縁で、土地の水利に力を尽くした長者世々開と一緒に暮らすようになります。やがて15人の子をもうけますが、生まれてきたのは顔以外す



手作り感満載の虎明神

虎と寅の違い

「寅」の付く地名は全国を探してもなかなか見つからない貴重なものだと感じます。ちなみに虎姫には1993年にタイカースファンが建立し、見事リーグ優勝に導いた誠にありがたい「虎明神」が鎮座されています。今年も、阪神の勝利の女神として寅の日、寅の刻にお勤めが行われます。その他の御神徳もありますので是非お参りしてみても如何でしょうか？ (野津 隆)

虎姫って何？ さて、滋賀県には「虎姫」という地名があり「虎姫(虎御前)」伝説が伝わります。

このころから長尾山を虎御前姫にちなんで虎御前山と呼ぶようになり、町の名「虎姫」の地名もこれに由来しています。東京の虎ノ門など「虎」

- 資源回収
- ★かがやきの丘町内会
 - 毎月第1・3日曜日
 - 毎月第1・3土曜日
 - ★フォレストローズ子供会
 - 毎月第2日曜日
 - 毎月第2土曜日
 - ★向山子供会
 - 毎月第2・4土曜日
 - 毎月第2・4土曜日
 - ※回収品は古新聞・古雑誌・段ボール・ウエス・雑紙